

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・合唱、合奏等を発表する機会が増えた。
- ・友達の表現のよさに気付き、合唱、合奏する楽しさを味わうことができた。

(2) 課題

- ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの学習において、タンギングや運指に課題がある児童がいる。
- ・音楽の特徴や感じたことを自分の言葉で考え、表現する活動では個人差が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・<u>鍵盤ハーモニカでは、旋律を音名や指番号で歌い、基本の定着を図る。</u> ・身体表現やリズム遊びを取り入れ、リズム感を養う。 ・捉えさせたい特徴がはっきりと表れている教材を選択する。	・列ごとの演奏や授業内の発表の中で、友達の表現や工夫のよさに気付かせる。 ・<u>即興的な表現から音楽を特徴付けている要素を結び付け、そこから創意工夫を想起させるようにする。</u>	・身体表現を取り入れて、楽しく活動を行えるようにする。 ・クラス内や学習発表会等、<u>発表する機会に向けて目標をもたせる</u>ことで、活動意欲を高める。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・<u>基礎的な奏法に時間をかけて指導したり、視覚支援や体感を重視した指導を取り入れたりすることで、基本の定着を図る。</u> ・ステップを細かく設定し、達成感を積み重ねられるようにする。 ・捉えさせたい特徴がはっきりと表れている教材を選択する。	・グループ活動や授業内の発表の中で、友達の表現のよさに気付かせる。 ・イメージや即興的な表現から<u>音楽を特徴付けている要素を学ぶ題材を設定し、要素の働きを定着させた上で演奏の工夫を考えさせる</u>ようにする。	・児童が意欲的に活動できるよう、聴きなじみのある楽曲や児童の実態に合う楽曲を題材とすることで興味・関心を広げていく。 ・クラス内で<u>発表する機会をつくり、目標を設定させる</u>ことで活動意欲の向上を図る。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・<u>基礎基本の定着を図るとともに、曲想表現に必要な技能を高める。</u> ・ステップを細かく設定し、達成感を積み重ねられるようにする。 ・捉えさせたい特徴がはっきりと表れている教材を選択する。	・グループ活動や授業内の発表の中で、友達の表現のよさに気付かせる。 ・<u>音楽を特徴付けている要素を掲示し、その中から自分で要素を選択した上で、演奏の工夫を考えさせる</u>ようにする。	・様々な曲想の楽曲を題材とすることで、演奏できる音楽の幅を広げていく。 ・クラス内や学年間で<u>発表する機会をつくり、目標を設定させる</u>ことで活動意欲の向上を図る。